

平成 25 年度 練馬区立豊玉中学校 学校評価報告書

練馬区立豊玉中学校

校長 井田 宗宏

1 自己評価結果

(1) 概要

生徒、保護者、地域関係者、教職員のアンケート調査、意識調査をもとに、年度末に教職員が自己評価を行った。この結果をまとめると以下のようになった。

ア 今年度の成果

豊かな人間性の育成の中心である「学校行事の充実」などでは、全校を挙げて取り組んだ成果もあり、地域や保護者からの評価が昨年度に比べ上昇した。（平均指標、4.2）

イ 次年度への課題

「給食指導・食育の充実」については、全体的に厳しい評価が寄せられ、その在り方について改善すべき点を含め、具体策を全体に示す必要がある。（平均指標、3.8）

ウ 次年度に向けた改善策

小規模校の特性を生かし、生徒理解に基づいた個別指導は充実してきている。次年度は、これまでの流れを受け継ぎ、学校公開の機会を一層充実させ、ICT教育の推進、小中一貫教育の実践的な取組を展開し、「学力向上・授業改善」に重点を置いた指導を継続する。

(2) 根拠となる資料

ア 項目別評定

平成 25 年度 豊玉中学校の学校経営に関する意識調査結果 （保護者・教職員・学校評議員対象）

（ 指標 5 とてもよい 4 まあまあ 3 どちらとも 2 あまり 1 改善が必要 ）

	平均	中期短期経営目標	具体的方策	取組の指標			
				平均	保護者	教職員	評議員
学力の向上	4.0	・わかりやすい授業を目指し、教師は指導力向上のために研究・研修を充実させようとしている	・学校が全体として、前向きに授業を公開し、授業改善に向けた取り組みを行っている ・わかりやすい授業を実践している	4.1	3.6	4.3	4.3
		・小規模校の特性を生かし、生徒理解に基づいた個別指導を充実し、丁寧な指導を推進している	・日常的な個別指導を充実させている ・生徒の視点に立ち、その心情を踏まえた生徒指導を行っている	4.1	3.6	4.0	4.7
		・コンピュータの活用を進め、ICTを利用し授業を効率的に行っている	・コンピュータによる教材作成を進め、わかりやすい資料提供と効率的な校務処理を行う姿勢がうかがえる	3.8	3.7	4.1	3.7
		・生徒の自主的・自立的活動を充実させ、生徒会・委員会活動を活性化しようと努力している	・生徒による発表・報告会の実施など、日常的に学校内外のボランティア活動を活性化しようと努めている	4.1	3.9	4.2	4.3

豊かな人間性の育成	4.1	・言語環境を整備し、道徳教育を充実させようとしている	・爽やかなあいさつの励行を通して、互いを大切にするよう学級を基本とした指導を徹底する様子が伝わる	4.0	3.8	3.8	4.5
		・学年行事における実行委員会組織を充実させ、体験的な活動の充実と豊中生としての自覚を高めている	・学年を中心とした体験活動の実施や保護者への学年行事報告会の実施などを通して体験活動を充実させようとする態度が伝わる	4.2	3.9	4.3	4.5
体力の向上	3.9	・全教職員が関わることで、部活動を充実させる	・保護者会の定期的な開催、各部活動による試合や発表会の実施などを通して、部活動を充実させようとしている	3.9	3.5	3.8	4.5
		・給食指導を徹底させ、食育を充実させている	・「残菜ゼロキャンペーン」等を通して残菜をなくす指導の推進を通して、全職員による給食指導を実施していることが理解できる	3.8	3.8	3.5	4.2
地域連携学校運営	4.0	・教職員・生徒の地域活動への参加拡充を行い、地域ボランティア活動を充実させている	・町会、関係諸機関、小学校、地域行事などへの生徒の参加を推進し、地域と一体になろうとする努力をしている	4.0	3.6	3.7	4.8
		・授業参観(地区協議会、研究発表会)を充実させ、母体2小学校との連携を強化を図っている	・行事などにおける小学校との交流、校庭開放などの円滑な実施を通して、小学校との連携を強化しようとしている	4.0	3.7	3.9	4.5
		・学校学年行事の公開、学校HPの充実などを行い、学校情報の公開を推進している	・学校公開、学年茶話会の実施、月1回のHP更新など、学校情報を前向きに公開し、理解を得ようと努力している	4.1	3.8	4.2	4.4

保護者自由記述欄（要旨）

- ・学校に用事で行くと、子供たちがさわやかな挨拶をしてくれてとても気持ちが良かったです。今後も続いていくと良いと思います。
- ・諸連絡が子供たちには伝わっていても、親までは伝わりにくいです。学校内のことが未だによくわからない現状です。
- ・もっと近くの小学校との連携を深めた方がいい。部活動を盛り上げていくべきだ。
- ・生徒に慈愛を持った良い先生が多くいらっしゃる学校だと思っています。
- ・部活動の時間（土、日）を含め、子供の体力の消耗が勉強面にまで残らないように。
- ・学年便りなど、学校での様子のわかるものがもう少し多いと良いと思います。土曜公開の時間割や見てもらいたいポイントを詳しくお知らせいただければ学校にも行きやすいのですが。
- ・PCを利用することで校務処理の効率化は図れると思うが、授業そのものが効率化されても勉強についていけない生徒がいたり、学力そのものが驚くほど向上しているとも思えない。豊かな人間性に関しても学校でやれることに限界があると思う。まずは不安定な子供ほど家庭での関わりをしっかりと見直すべきだと思う。そのための助言や相談に乗ってもらえると親としても安心感がある。
- ・入学してから毎日楽しく通学しています。担任の先生も良い先生で授業も本人なりに理解をしながら授業が受けられている様子です。勉強、部活、委員会、友達や先輩との関わりでバランス良く楽しい中学校生活ができればいいなあと思っています。
- ・今後の気温上昇に伴う熱中症対策として、施設の充実をお願いしたいです。（冷水機を1F

と4Fに設置、エアコンを専科、特別教室（視聴覚室、美術室、木工室、理科室、被服室）に設置。プールの改修、狭くて汚いので（床の色）お願いしたいです。先生によって授業力に差がないようにしていきたいです。

- 1年生と2年生の前半までは、三者面談ではなく、個人面談としていただきたいです。今後、難しい年頃となる子供の前で、気になることや心配事を話すのは、どうしてもできないような気がします。友人関係とか、まして忙しい先生方に改めて時間を作ってご相談となると、気が引けます。先生方も面談で相談を受ければいろいろと早期発見につながるのではと思います。今後、中2となりたぶん色々変化していく子供たちのことが心配なのできちんとした場がほしいです。
- 現在ある部活動の先生方がとても熱心に指導してくださっていることに感謝の気持ちでいっぱいですが、他の学校に比べ部活動の数、選択肢が少ないと思います。特に今一番人気があるサッカー部がないことが残念でたまりません。
- 生活態度、授業態度が悪い環境でも、昔に比べたら穏やか、という判断で放置している感じがします。家庭の事情もあると思うが、人を傷つける言動、ダメなものはダメという最低限の教育は徹底させてほしいです。
- 学校に行く機会も少なく、男子ゆえに、家での会話も少ないのですみません。いつか学校に伺った時、女子生徒がそれはそれは礼儀正しく声をかけてくださり、案内していただきました。あのような生徒がいるので安心しました。学力に関しては更なる学力の向上のための指導や進路指導には大いに不安を感じています。
- 部活に所属していますが、保護者会がありません。部活の説明会もなく、連日日程について不明確なところが不満です。
- 職場体験に至るまで、職場体験については生徒が一人一人で活動し、体験も1事業所につき、一人、そして体験後、お礼の手紙を出すまで、生徒自らの手でやらなくてはならないのは、大変だと思いましたが、他校のようにグループだったり、生徒が希望を出すだけで、あとは先生が適当に割り当てる話などを聞くと、豊玉中で良かったと思えました。苦勞した分、本人の成長につながるのでありがたいです。
- 学習発表会を実施するにあたり、生徒の準備活動の時間を保証していただけると、不平や不満、不安が軽減します。お忙しい中、大変なことだと思いますが、よろしくをお願いします。
- 生徒の心情を踏まえた生徒指導が行われているかは、疑問に思うことがあります。担任の先生以外の先生方が子供たちをどれだけ理解しているか、わかりません。
- クラス決めについて、どのようにして行われているか分かりませんが、学力に加えて運動面に関しても考慮はなかったのかと思うようなクラス分けのように思いました。運動会でクラス一丸となり頑張ろうという意識が育ちにくいのではと感じてしまいました。
- 子供は豊玉中が大好きです。沢山の友達が出来、1年生から大変充実した学校生活を送っています。精神的にも成長し、しっかりした子供になってきました。先生の行き届いた指導があつてこそだと感謝しています。でも、まだまだ豊玉中は変わっていくことができます。練馬区内で一番人気がある中学校になれる可能性があります。それは先生方が努力を怠らず、子供たちを沢山愛し、家庭との協力のもとに、子供たちが心から幸福になれるようになるには、どうすれば良いか、学校を人として、心を豊かにする場にするためにはどうすれば良いか、勉強していただきたいと思っています。
- 学校内に行くことが多いのですが、学年の特徴として3年生と1年生は気持ちよく挨拶をしてくれる子が多いです。進学に対する情報や先生の意見・話が少なすぎる。

2 学校関係者評価

(1) 総括

委員・教職員からは、次のような意見が出た。

- ・うわさのない事は、健全な学校であることと想います。
- ・学力の向上もさる事ながら、情報過多の現在、中学時代は自らの主体性を身につけ、それを社会に照らし、整合性を学んで頂きたい。やがて確実な主体性をもって、社会に貢献していく子ども達であって欲しい。
- ・道徳（数値性評価のない）等の授業を充実させて欲しい。
- ・校内にいつ足を踏み入れても、廊下や階段ですれ違いざまに生徒さんの方から挨拶の言葉が出て来て、大変爽やかに感じます。校外ではちょっとはにかむのか、顔見知りでないと、互いに挨拶は難しいですが。清掃の状況も良く、明るい雰囲気の流れでいて、先生との歓談もほほえましく思います。この状態をぜひ保ってほしいと思います。
- ・給食を残さず食べるためにも、生徒の好む味にしてもらえたらと思います。（薄味が身体にいいのは、わかっていますが…）
- ・忙しい中、「学力向上・授業力改善」に向け努力している。
- ・行事もいろいろとあるが、生徒の意欲を引き出し、取り組んでいる。
- ・少人数の生徒だからできる取り組みも、生徒会や教科でおこなっていることが、成果をあげていると感じました。

ア 今年度の成果

- ・学校全体に落ち着きが戻り、協調しながら学校生活を送る生徒が増加傾向にある。各学年には支援を要する生徒も複数いるが、授業規律は確立しつつある。いじめ、不登校をはじめ、様々な課題に向き合い、学校をあげて生徒一人一人の生活習慣を見直し、継続的な指導をした成果である。社会性を培い人権意識が高まるよう、改善に取り組んだ。
- ・地域との連携は、様々な場面で子供たちに働きかけ、目に見える形で関心が高まってきた。複数の自治会の方々との交流が深まり、次回に繋げる地盤ができた。

イ 次年度への課題

- ・日常的にOJTを推進する中で一人一人の教員の意識の変容が見受けられた。小中一貫教育は、研修担当を中心に、年間を見通した取り組みが進んでいるが全体にまで浸透していない。学力向上に向け、綿密な学習指導案に基づき研究授業を展開し、専門職としての教員の意識のさらに高揚するよう働きかける。
- ・保護者との連携では、昨年度と同様、学校の意向が十分に理解されず対応に追われた場面があった。良い面をさらに伸ばせるような指導に心がける。また、生徒は全体的に幼い言動が多く見受けられるので、個に応じて、きめ細かな指導を心がける。

ウ 次年度に向けた改善策

- ・不審者情報等を冷静に受け止め、学校全体で危機意識を持ち対応してきた。「自分の身は自分で守る」という意識が身に付きつつある。生命尊重教育を全面的に推進できる体制の構築を目指し、地域社会と連携を深め、実際的な訓練を実施する。体罰根絶に向けて、暴力・暴言はどんなことがあっても許されないことを、さらに徹底する。

- ・ 特定の教員がいじめ問題等を抱え込むことなく、組織的な対応ができるようにするため、学校いじめ対策委員会(本校では、運営委員会を充てる)を核とし、教職員一人一人の役割と責任を明確にし全校体制で取り組む。

(2) 根拠となる資料

自己評価結果表と保護者・生徒のアンケート調査の結果をもとに、学校評価委員と学校評議員で協議を行った。(平成26年3月1日)

3 評価結果の公表等

学校だより、学校ホームページで公表するとともに、年度末に行った保護者会で資料をもとに詳細に説明を行った。

4 次年度の学校改善に向けた校長としての見解

今年度の評価を踏まえて、次年度に向けた学校改善の視点を次のように設定する。

(1) 生徒一人一人を心から大切に、社会性を培う学校づくり

年度当初の段階で、生徒理解に基づき、安心して授業や学校行事に参加できるように、基本的な生活習慣を見直す。そのために教職員が極力、生徒に寄り添い、密着した指導を通して、改善を促すように努める。特別支援教育適の生徒が数名在籍しているが、個々の実態に即した指導を継続する。活力あふれる学校行事等を通し、生徒相互の人権意識を高めるなかで、基本的な生活習慣を確立し、社会性を身につける校風を築き上げる。またスクールカウンセラー等を有効活用し、年度末までに不登校の生徒を減少できるよう取り組む。

(2) 教師の専門職としての高い能力を求め続ける学校づくり

これまで同様に、教師全員が年間1回以上の研究授業を実施し、授業改善に向けた校内研修を深める。特に次年度は小中一貫教育を意識し、これまでの研究指定校の実績を踏まえ、指導法の改善、教材開発、評価の改善を実施し、学力の向上を目指す。ベテランの模範授業を校内研修の一環として位置づけ、生徒主体の授業作りの基本について研鑽を重ね、専門職としての力量を高める。校内研修では、外部講師を年間で5名以上招聘し、第三者の客観的な指導・助言を生かし、若手教員を中心に、授業観、学習観の意識改革を全校体制で進める。

(3) 地域のセンターの役割を果たす開かれた特色ある学校づくり

本校では「教育活動は原則全公開」で教育活動を推進している。区役所のお膝元の中学校として、保護者・地域からの期待は大きい。学校公開日、学校評議委員制度等を活用し、学校が抱える課題を可能な限り外部と共有し、7月までに整理し、改善策を提示していく。特に豊玉南小学校と豊玉小学校とは、児童会・生徒会共通のボランティア活動を推進し、子供たちが直接的に交流する場面を定期的に設定する。地域のセンターの学校として、小中一貫教育に関わる具体的な研究が推進できるように体制を整える。